

原単位の改善のための取組に関する状況【2024年度提出分(2023年度実績)】※非特定事業者用

株式会社エコフィール

館柄コード	
法人番号	4240001020853

日本標準産業分類	コード	項目名
中分類	18	プラスチック製品製造業
細分類 (申請事業)	1851	プラスチック成形材料製造業
エネルギー管理統括者	【役職】 【氏名】	

エネルギー総使用量	40,677	GJ	1,049	kℓ
前年度エネルギー総使用量				kℓ
非化石エネルギー総使用量		GJ		kℓ
調整後温室効果ガス排出量				t-CO ₂

【エネルギーの使用の合理化】

主たる事業におけるエネルギー消費原単位※注 (2023年度実績)	原単位分母				
	主たる事業の構成割合 %				
事業者全体のエネルギー消費原単位 対前年度比	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
事業者全体の5年度間平均原単位変化(%)					

※主たる事業は、必ずしもエネルギー消費量の多寡で決定されるものではなく、日本標準産業分類の考え方に基づき各事業者が決定したものである。

【調整後温室効果ガス排出量の算定に用いた認証排出削減量の量】

種別	合計量
	t-CO ₂
-	-
-	-
-	-

【非化石エネルギーへの転換】

電気の非化石比率	事業者全体で使用する電気				
目標(2030年度)	35.0%				
直近5年度間の実績値	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
					22.6%

目安設定業種					
目安(2030年度)					
目標(2030年度)					
直近5年度間の実績値	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
目安設定業種	-				
目安(2030年度)	-				
目標(2030年度)	-				
直近5年度間の実績値	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
					-

【ベンチマーク指標の状況(合理化)】

ベンチマーク区分		
目指すべき水準	kℓ/t以下	
ベンチマーク指標の状況		
ベンチマーク区分		
目指すべき水準	kℓ/t以下	
ベンチマーク指標の状況		
ベンチマーク区分	-	-
目指すべき水準	-	
ベンチマーク指標の状況	-	
ベンチマーク区分	-	-
目指すべき水準	-	
ベンチマーク指標の状況	-	

【取組の概要:業界の事情等を考慮した取組について(定量指標)】

--

【取組の概要:業界の事情等を考慮した取組について(定性的事項)】

1. エネルギーの使用の合理化に関する事項

以下の対策によりエネルギーの使用の合理化を推進しています。
 ①生産設備の更新を行います。6台の主力生産設備のうち老朽化した設備2台を更新して、省エネルギータイプの設備を導入予定です。
 ②生産設備の改善を行います。押出機バレルの断熱化、生産工程で使用するモーターの最適化等を行います。
 ③生産工程での異常値をコントロールします。電力をリアルタイムで監視するシステムを導入し、異常値を早期に発見して対策を行う予定です。

2. 非化石エネルギーへの転換に関する事項

・非化石エネルギー割合の高い電力会社への転換を検討しています。

【取組の概要:カーボンニュートラルに向けて】

1. 自由記述欄(カーボンニュートラルの実現等に資する事業者独自の取組や革新的技術に係る研究開発等の取組について)

--

2. 関連リンク

(タイトル)	:
(タイトル)	:
(タイトル)	:

(注意事項)

・赤字囲み欄は必須記載です。
 ・再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法第37条第1項の規定による、賦課金に係る特例の適用を受ける期間においては、情報の公表を継続する必要があります。